

文藝言語研究

文藝篇

目次

ビザンティン典礼の構造と喜劇詩人アリストファネスの
「ビザンティン三部集」
— 夜半課の祈祷を基点に—

..... 秋山 学 1

言語篇

目次

「エルサレムの朝課」をめぐって
— 「エンコーミア」を中心に—

..... 秋山 学 25

2022

80・81

筑波大学大学院

人文社会科学研究所 文芸・言語専攻

編集後記

第80巻・第81巻合併号をお届けいたします。

『文藝言語研究』は例年10月と3月の年2回刊行されますが、今年度は2巻分を1冊にまとめて年度末に1回刊行するスタイルをとることになりました。これには、予算の削減、執筆者の減少などの背景があります。

予算面の厳しさは紀要に限ったことではありませんが、執筆者の減少については本学における紀要の位置づけが大きく影響しているのではないかと思われます。具体的にいいますと、紀要論文は研究業績としてはあまり高く評価されませんので、昇任人事でも重視されることは少なく、紀要論文を書く意義を感じづらくなっているのかもしれません。

一方で、研究の途中経過やそこで得られた萌芽的な知見を紀要という媒体で公刊することを通じて、研究が進展したという経験をお持ちの方も多くいらっしゃると思います。また、紀要論文は多くの人の目にふれやすく、読み手の立場からすると、良質の研究資料に思わず出会える場でもあります。

大学院は「学位プログラム」という単位で、教員組織は「学域」という単位で稼働し始めています。したがって、文芸・言語専攻で発刊する『文藝言語研究』が廃刊になることも近い将来あるのかもしれません。今後紀要を存続させていくのか、あるいはなくすのか、存続させるならばどのように存続させるのか、みなさまはどのようにお考えでしょうか。

(島田 雅晴)

文藝言語研究 (第80・81巻)

2022年3月31日発行

発行所 筑波大学大学院
人文社会科学研究所 文芸・言語専攻

茨城県つくば市天王台1丁目1番地

電話 (029)853-4340 (〒305-8571)

印刷所 筑波印刷情報サービスセンター協同組合

STUDIES IN LANGUAGE AND LITERATURE

Literature

CONTENTS

| | |
|--|---|
| Structure of the Byzantine Liturgy and the “Byzantine Triad” of the Comic Dramatist Aristophanes: On the Basis of the Midnight Prayers in the Byzantine Rite AKIYAMA Manabu | 1 |
|--|---|

Language

CONTENTS

| | |
|---|----|
| On the Matins of Jerusalem: With Special Reference to the “Enkomia” AKIYAMA Manabu | 25 |
|---|----|

2022

80 · 81

Doctoral Program in Literature and Linguistics

University of Tsukuba